



上北谷 笑楽好 だより No.9

チャレンジ通信

令和4年11月29日

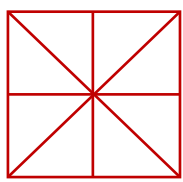
～感染予防対策に、引き続きご協力をお願いします～

三人寄れば、文殊の知恵

～友達と一緒に考えることで、考え方を広げる～

校長 藤ノ木 昌史

このようなパズルのゲームを紹介されたことがあります。



左の図の中には、たくさんの漢字が隠れています。

例えば、「日」。例えば、「木」。いくつ見つけられますか？

初めてやった時、20個くらいの漢字を自力で見つけられたと思います。その後、友達と発表し合うと、40個くらいの漢字に増えました。

発表し合いながら、自分と友達とでは漢字を探すときの視点や思考が違うことに気付きました。そして、新しい視点で考えると、次々と新しい漢字が見えてきました。

同じものを見て、同じテーマで考えても、とらえ方・考え方は人それぞれ違うもの。だからこそ、互いの考えを交流させることで、新しい素敵な考えが浮かび、自分の見方・考え方が広がるのです。

「三人寄れば、文殊の知恵」(凡人でも三人集まって相談すれば、知恵を司る文殊菩薩に負けない素晴らしい知恵が出るものだという意味)、言い得て妙なことわざです。

上北谷小学校では、「友達との関わりを通して、自らの学びを深める力を高める」ということをテーマに、関わることを大切にして子どもたちの力を伸ばしたいと取り組んでいます。

人数が少ないため、考えが偏ったり、狭くなったりしがちな中ですが、先生方が、「一人一人の気づきや考えを大切に、その気づきや考えを交流させることで、一人一人の見方・考え方を広げ深める」ということに留意して、日々の授業に取り組んでいます。授業研究といって、先生方で互いの授業を見合い、よりよい授業づくりのために知恵を出し合っています。

11月は大きな行事が少なく、学習に集中できる月でした。子どもたちも先生方も「三人寄って、文殊の知恵を練り上げる」ことにたくさんチャレンジしています。



授業研究の様子
(上: 3・4年生 下: 5・6年生)

さて、冒頭のゲーム、いくつ漢字を見つけれられるでしょうか。秋の夜長、親子でチャレンジして、「文殊の知恵」を出し合ってみるのはいかがでしょうか。

(ちなみにこのたよりを書くに当たり、久しぶりにやってみたら、私は66個見つけられました。私も賢くなっている!?)

11月の行事アルバム

11月14日から、生活強調週間、校内読書週間に取り組みました。

読書週間では、読書活動の推進のために、「1～4年生が5・6年生に読み聞かせをするペア読書」「市の図書館司書によるブックトーク」「児童会委員会による本探しルー」など楽しいイベントを実施しました。

ご家庭では、親子で「家読」に取り組んでいただきました。



11月20日(日)
見附子育て
教育の日

学習参観と PTA
主催の「ダンス親子
体験会」を行いました。

ご両親で来校いただいたご家庭も多く、子どもたちの学習の様子を見たり、一緒に活動したりしていただきました。



11月25日 みつばプラン・フットサル教室

みつば3校(第二小 田井小 上北谷小)の3・4年生が集まり、フットサルを通して交流を深めました。今年は事前にテレビ会議での学習や顔合わせをしておき、スムーズに仲間づくりができたのではないかと思います。



いじめ見逃しゼロ強調週間

11月8日 中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会: 5・6年生と中学生がテレビ会議で、SNSを通して起こるいじめや問題をなくすための行動を考え合いました。

11月14日 いじめ見逃しゼロキャラバン: 県から派遣いただいた講師から「いじめについてみんなで考えよう」の演題で、講話をいただきました。

11月24日 絆朝会②: 1学期に立てた「いじめのない学級づくり」の取組について、成果と課題を発表し合い、一層仲のよい学級づくりを進めることを誓い合いました。